30　　派閥の作り方 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　比況形

　君　　㆓ 君　子㆒、㆑ 　㆑ 、小　　㆓ 小　人㆒、㆑ 　㆑ 。　自　然　之　理　也。

　臣　、「小　　㆑ 朋、　君　　　 之。」　　　哉。小　　㆑ 　、利　禄　也。㆑ 、貨　財　也。㆓ 　一レ 　　㆑ 、　利　 　 。

君　　　不㆑ 。㆑　　　道　義、㆑　　　忠　信、㆑　　　名　。㆑　　　 、□　　　而　相　、㆑　 　 、□　　　而　　、終　始　㆑　 。 　君　子　之　朋　也。　㆓　人　君㆒、　 ㆓小　人　之　　㆒、㆗君　子　之　真　㆖。　天　下　　矣。

【本文チェック】

①傍線部を書き下し文にし、（　）に書きなさい。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

②波線部を「之」の内容を明らかにしながら現代語訳し、〔　〕に書きなさい。

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

③□に共通して入る漢字一字を文中から探して書きなさい。

（　　　）

【語彙力✚】＊〔数字〕はノート本冊での本文の行数を表す。

問１　次の語句の読みを現代仮名遣いで答えよ。

１　与〔１〕（　　　　　）

２　謂〔３〕（　　　　えらく）

３　惟〔３〕（　　　　だ）

４　或〔５〕（　　　　いは）

問２　次の語句の意味として最も適当なものを選べ。

１　則〔５〕 ア　そうすると　　イ　やっと

ウ　すぐに　　　　エ　そして

（　　　）

２　不㆑然〔６〕　 ア　そうかもしれない　　イ　そうとは限らない

ウ　そうなるはずだ　　　エ　そうではない

（　　　）

【文法力 ✚】

問３　次の各文について、現代語訳を参考にして書き下し文の（　）を補え。ただし、送り仮名を省いたところがある。

１　 兮　　若㆑ 海。

　　として其れ海（　　　　　　　）。

　　（穏やかなさまでそれは海のようだ。）

２　　君　之　　 猶㆓ 累　卵㆒ 也。

　　其の君の危ふきこと（　　　　）累卵（　　　　　　　　　）。

　　（その君子の危うさはちょうど積み重ねた卵のようだ。）

３　冶　長　㆓ 　㆒、　似㆑ 解㆓ 　㆒。

　　の語を笑ふ、是れ鳥の語を（　　　　　　　　　）。

　　（冶長が雀の言葉を笑ったが、これは鳥の言葉を理解しているようだ。）

問４　次の文について、現代語訳の（　）を補え。

㆑ 。

度を過ぎるのは（　　　　　　）やり足りない（　　　　　　　　　　）。

問５　次の文を書き下し文に改め、現代語訳せよ。

１　　㆑ ㆑ 人。

書き下し文（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

現代語訳　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２　人　　㆓ 行　㆒。　＊行客＝旅人。

書き下し文（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

現代語訳　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

３　 ㆑ 　而　 　也。　＊縁＝登る。

書き下し文（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

現代語訳　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【探究】表現してみよう

問６　本文では利益を優先することの弊害に触れたうえで、「朋」つまり仲間をつくることの難しさに触れている。では、あなたはどのような仲間をつくりたいか。そのためにはどうすればよいか。考えを書いてみよう。

〔

〕

【解答】

【本文チェック】

①　但だ当に小人の偽朋を退け、君子の真朋を用ゐるべし。

②　ただ君子だけに仲間がある。

③　則

問１　１＝と　２＝おも　３＝た　４＝ある

問２　１＝ア　２＝エ

問３　１＝のごとし　２＝猶ほ・のごときなり　３＝解するに似たり

問４　ちょうど・ようなものだ

問５　１　書き下し文＝傍らに人無きがごとし。

　　　　　現代語訳＝（あたかも）そばに人がいないようだ。

　　　２　書き下し文＝人生は行客に似たり。

　　　　　現代語訳＝人の一生は旅人のようなものだ。

　　　３　書き下し文＝猶ほ木に縁りて魚を求むるがごときなり。

　　　　　現代語訳＝ちょうど木に登って魚を求めようとするようなものだ。

問６　観点　どのような仲間をつくりたいか、そのためにどうすればよいかを具体的に述べていること。

【書き下し文】

問４　過ぎたるは猶ほ及ばざるがごとし。